

高校
**現代社会
用語事典**

三省堂編修所編



三省堂

高校
**現代社会
用語事典**

三省堂編修所編



1983年3月10日 初版発行



N.D.C. 番号 303

高校 現代社会用語事典

定価 800 円

1983年3月10日第1刷発行

1985年10月30日第4刷発行

編 者 三省堂編修所

発行者 株式会社 三省堂 代表者 上野久徳

印刷者 凸版印刷株式会社

発行所 株式会社 三省堂

〒101 東京都千代田区三崎町二丁目22番14号

電 話 編 集 (03) 230-9411

販 売 (03) 230-9412

総 務 (03) 230-9511

振替口座 東京 6-54300

<現社用語事典・400 pp.>

Printed in Japan

落丁本・乱丁本はお取替えいたします

ISBN4-385-24070-1

は し が き

「現代社会」は1982年度から必修科目として誕生した新しい科目です。高等学校で学ぶ人文・社会科学領域の基礎知識を広く身につけて、2年・3年生での選択科目をより深く理解するための、スタートラインに位置づけられています。

「現代社会」の特徴は、政治・経済・社会・倫理の分野を中心に、青年問題や生活、文化と伝統、民俗なども対象としているところにあります。そして、これらの諸分野の相互の関連のなかから、現代社会がかかえている諸問題、民主主義の確立と世界平和の樹立のための諸課題を学びとり、自らの生き方を考察していこうとするところにあります。

以上のように高等学校で学ぶ「現代社会」は、広い領域をカバーしています。従って、総合的かつ効果的な学習をすすめるためには、多方面にわたるひとつひとつの事実や用語について、正確な知識が必要とされます。

この事典は、現在発行されている、21種類の「現代社会」の教科書はもとより、「政治・経済」「倫理」の教科書などもくわしく調べて検討をくわえたうえ、学習上に不可欠な基礎的用語をもれなく収録するように努めました。また教科書のほかにも、新聞・テレビ・雑誌など私たちの周囲にはりめぐらされているさまざまなメディアから、必要と思われる用語を採録しました。

解説文はわかりやすく平易に叙述することに努め、1年生から愛用できるように心がけています。上級学年で学ぶ「政治・経済」「倫理」の学習、そのうえ共通一次・論述試験など受験にも直接役立てられるような見出し語の立て方、解説文などの工夫もしてあります。さらに現代に生起する諸問題を、自らの目で確かめ考察していく手がかりになる用語等も、十分なスペースをさいて解説することに努めました。解説文中には、随所に*印が付してあります。それらの用語は、別に項目が立てられ解説がありますから、*印をたどってこの事典を活用すれば、わからないことを調べ、知識を確かめるということばかりではなく、「現代社会」の目標である多領域からの、社会と人間についての総合的・立体的考察にきっと大きなプラスとなるでしょう。

この事典に収録されている見出し項目は約5000項目です。つぎつぎに、引き、読むという事典の利用法をマスターすれば、ここに書かれている学習内容は数倍の学習効果となってあらわれ、皆さんのお役に立つことと思います。

私たちの生きている「現代」のダイナミズムを、十分に認識できる手がかりが、この事典の活用によって得られると確信しております。

この事典は、編集委員の諸先生、ご執筆いただいた先生方はじめ大勢の方々のご協力で完成することができました。

皆さんの学習の一助として、この事典が十二分に利用され、役立つことを祈っています。

この事典を使う人へ

1. 見出し語は、現代かなづかいに拠り、平仮名ないしは片仮名と、漢字で示した。
なお片仮名見出しのうち、人名・神名および略語は欧文をあわせて記載した。
2. 見出し語の配列は、五十音順として、長音は無視した。また清音・濁音・半濁音の順とした。
3. 見出し語で、同じ仮名表記が2つ以上ある場合で、漢字表記のあるものは、漢字の画数順にそれを配列した。
4. 見出し語が同じで、領域のちがいで解説内容が異なってくるものは、解説文中に①②…をつけて区別できるようにした。
5. 外国人名は、いわゆる漢字圏の場合、姓名で示し、それ以外は姓で示すことを原則とした。また、その読み方は、現在一般に通用しているものを採用するようにつとめた。
6. 年代の表記は西暦で示し、日本関係のものには日本年号を併記した。その場合、改元年を新しい日本年号の1年とする慣用に従った。
7. 同一項目の解説文のなかにある西暦年代のうち、4桁のものは、初出のみ4桁を記し、以下は下2桁のみを略記した。
8. 解説文中で、見出し語に採録してある用語には、必要に応じて*印を付した。
9. 同一事項でよく知られている呼び名が2つ以上ある場合には、教科書の表記を尊重しつつ、見出し語を立てた。
なお本項目の見出し語としなかった方の用語は、見よ項目として=で本項目が検索できるようにした。
10. *印が付けられたものと同様に、参照することで内容の相互関連などの理解が深められるような場合、見よ項目のほかに、解説文の末尾に→で、参照項目を指示した。
11. 著者・書名は二重かっこ(『)で示し、雑誌・新聞・論文名および美術作品名や音楽作品名、また引用などは普通のかっこ(「」)で示した。
12. 日本の読み方は検索の便宜上から、全て「にほん」の読み方で配列した。



あ

あい 愛 一般に対象となるものをかけがえのないものとして大切にすること。対象としては自己および他者を含む。価値のある人格の対象に対する内面的同情、あるいはその対象と一致融合しようとする感情のことで、倫理学上最も重要な概念のひとつである。①ギリシア思想の愛。*プラトンは、肉体とのつながりを離れて、真・善・美の*イデアを愛慕していくことを*エロス（愛）と呼んだ。それは普遍的に価値あるものを「求めていく愛」である。②*キリスト教の愛。イエスによって示された神の愛（*アガペー）は、自己犠牲的、無差別平等、無償の愛であり、それは神によって人間に「与えられる愛」である。③東洋思想の愛。*孔子の説いた仁は、孝弟、*忠恕（じゆ）などの意とされるが、これはキリスト教の愛と同じように他者に対する思いやりの愛である。また、*墨子には博愛平等の愛である兼愛説がある。仏教では、生きとし生けるものに対する悲しみと同情の心である慈悲が大切なこととされた。④日本思想の愛。仏教や儒教の影響のほかに、山川草木、花鳥風月など自然物に対する愛が強調される。

アイーエイ IEA = 国際エネルギー機関

アイエフシー IFC = 国際金融公社

アイエムエフ IMF International Monetary Fund（国際通貨基金）の略称。国際間の*通貨と金融の協力のための機関。1944年、*ブレトン・ウッズ協定で成立。*国際連合の専門機関のひとつ。(1)金とドルを基準とする固定相場制をとって*為替（かわ）レートを安定させる、(2)為替取引を自由化する、(3)国際収支が赤字になった国には加盟国が出し合った基金から資金の貸し出しをする、などによって戦後の世界経済の安定と発展をはかっている。

アイエムエフじゅうよんじょうこく IMF14条国 IMF規約14条の適用を受ける国。IMFは為替（かわ）の自由化を原則としているが、*国際収支の赤字に悩む国は、例外として為替取引を制限することができる。→IMF8条国

アイエムエフたいせい IMF体制 ブ

レトン・ウッズ体制ともいい、*ガットと併せてIMF・ガット体制ともいう。第二次世界大戦前、世界経済が*不況に陥ったとき、各国が*為替レートを切り下げたり輸入制限をしたりしたため、経済が混乱したことを反省して、戦後、世界経済の安定と発展のために、通貨や金融の面では*IMFと*世界銀行がつくられ、貿易の面ではガットがつくられた。自由にとこの国とも、平等に助け合う（自由・多角・無差別・互惠）ことを原則として、強大な*アメリカ合衆国の経済力を中心に戦後経済の復興に大きな役割を果たした。1960年代に入って、(1)アメリカ合衆国の経済力が弱まり、(2)*ECなどの地域的統合が進み、(3)*南北問題が深刻になり南からの改革や援助の要求が強まってきたことなどの情勢の変化を受けて、*国際通貨の危機のなか、1971年の*ニクソン・ショックによって崩れ、再編成がはかられている。

アイエムエフとくべつひきだしけん IMF特別引出権 = SDR

アイエムエフはちじょうこく IMF8条国 IMF規約8条によって為替（かわ）制限を廃止している国。経済の安定した*先進国がこれにあたる。日本も1964（昭和39）年から8条国となった。→IMF14条国

アイエルオー ILO 国際労働機関（International Labour Organization）の略。*ベルサイユ条約に基づいて、1919年に*国際連盟の機関として創設され、'46年に*国際連合の専門機関となった。本部はジュネーブ。*労働条件の改善を目的とし、条約を作成し、各国に労働条件の改善に関する勧告その他の指導を行っている。わが国は'38（昭和13）年に脱退したが、第二次世界大戦後、'51年に再加盟した。

アイエルオーいちごうじょうやく ILO1号条約 1919年、*ILOが創設された直後に採択された最初のILO条約。労働者の*労働時間の最高限度を1日8時間、1週間48時間に制限したもの。批准をすませた国はまだ少なく、わが国もまだ批准するに至っていない。

アイエルオーはちじゅうなごうじょうやく ILO87号条約 1948年の*ILOの第31回総会で採択された「結社の自由および団結権の保護に関する条約」のことで、*労働組合ならびに使用者団体の結社の自由と自主的な運営を保障したもの。わが国は公共企業体等労働関係法（*公労法）の第4条

が同条約に違反するので問題になったが、ILOからの再三の勧告の末、ようやく'65(昭和40)年に批准した。

あいこくこうとう 愛国公党 わが国最初の*政党。1874(明治7)年、*板垣退助などによってつくられた。

あいこくしゃ 愛国社 1875(明治8)年、*板垣退助らの立志社が中心となって大阪で組織された日本最初の全国的政党。後に国会期成同盟と改称し、さらに*自由党へと発展した。

あいこくしん 愛国心 自己の属する*国家・*民族・*文化などに対する愛情や連帯感のことをいう。愛国心には、フランス革命期の国民軍に集結したフランス国民の熱烈な祖国防衛の感情のように、下から盛り上がった愛国心と、わが国の場合のように、教育制度や徴兵制度などを通じて忠君愛国の感情を育成しようとした、いわば上からの愛国心とがある。この種の愛国心は排外主義の思想と結び付きやすい。

アイシービーエム ICBM =大陸間弾道弾

アイディーエイ IDA =国際開発協会

アイデンティティ =自己同一性

アイドル 人気者。とくに芸能界・スポーツ界の若手のタレントや選手に対して使われる。しかし、プロダクションによってつくり出され、金集めの道具にされる場合も多くある。

アイヌぶんか ——文化 クマ・シカの狩猟やサケの漁労を生業とし、コタンを中心とした*地域社会を組織する*アイヌ民族の*生活様式。クマの霊を神の国への送り返し、将来の豊猟を願うクマ祭り、オヒョウの木の皮の繊維で織った厚司(アイヌ語でアットゥシ)という着物とそれに描かれている文様、ムックリという楽器、ツルの舞、*ユーカラなどの神謡がこの*文化の特徴である。

アイヌみんぞく ——民族 北海道、サハリン南部に居住する民族。波状毛・長頭・多毛質といった形質的特質を持っている。古アジア語群に属するアイヌ語を話し、独特の*文化をつくり出した。歴史的には東北地方にも居住していたときがあり、アイヌ語に由来する地名が多く残された。近世以降、日本人との混血により、その形質的特質も明確ではなくなり、固有の文化も大きく変容している。

あいのかみ 愛の神 →アガペー

アイビーアールディー I BRD =世界銀行

アイロニー 皮肉。無知の知者*ソクラテスは「知者」に教えを請うが、問答が進むにつれてむしろ相手の無知が露呈される。無知者の方が真の知者であるというこの逆説をソクラテスのアイロニーという。相手を肯定しながら実は根底的に否定する辛辣(きんせき)さでユーモアと対照的であり、告訴の遠因ともなった。しかし、知を求めることが善く生きることとひとつの人生課題である以上、*問答法は知を与えるのではなく自覚的に知に向かう*エロスははぐくむ皮肉法とならざるをえない。

アインシュタイン Einstein, Albert (1879~1955) ドイツの物理学者。相対性理論を創唱し宇宙観に重大な衝撃を与えた。*ナチズムの迫害からアメリカに亡命。科学者として反戦・反核兵器運動に尽力した。

アウグスティヌス Augustinus, Aurelius (354~430) キリスト教の*教父哲学の第一人者。北アフリカのヌミディア生まれ。初めはマニ教徒であったが、愛欲の生活を送るうちに神の啓示を受けて改心し、洗礼を受ける。彼は*プラトンの哲学を神学のなかに取り入れて、教会の教義の確立に努め、(1)人間はみな罪深い存在(原罪)であるから、神の恩恵によらなければ救われない、(2)教会だけが人間を救う地上の唯一の存在である、(3)歴史は神の国と地上の国の対立であり、最後に神の国が地上に出現するなど説いて、のちの*スコラ哲学の基礎を築いた。主著に『告白』『神国論』がある。

アウシュビッツ ポーランドの南西部にある小都市。*ヒトラーが*ユダヤ人絶滅政策を実施したとき、この地に強制収容所を設け、多くのユダヤ人が処刑された。

アウタルキー 自給自足経済のこと。一国がその領域内で国民生活の必需物資をまかない、他国に依存せずに経済生活を維持できること。国際経済の発達により完全なアウタルキーは不可能だが、*世界恐慌の後、ナチスの広域経済などはアウタルキーを目指した。第二次世界大戦後のブロック経済圏も自給自足体制の傾向にある。

アウトサイダー 一般に、ある社会ある時代の既成の秩序や枠組みからはずれて、批判や抵抗、逃避や逸脱の姿勢をとる人びと、あるいは集団を、既成の秩序や枠組みを守ろうとする人びと(インサイダー)の側からア

ウトサイダーと呼ぶ。芸術上では、既成の*価値観や文章作法などを否定して、芸術上の新しいジャンルを開拓しようとする人びとを呼ぶ。

アウトロー 法外におかれた人。社会秩序からはみ出た無法者・ならず者をいう。ヤクザ・渡世人なども指す。

あおいまつり 葵まつり 京都の上賀茂(錦)神社・下鴨(堀)神社で5月15日に行われる例祭。祭りの参加者や社殿が葵で飾られることからその名がついた。9世紀初頭以来、勅祭(詔)としての伝統を持ち、祭りといえば葵まつりを指すほどの人気があり、行列をみに集まる群衆の様子は古典などにも描かれている。*祇園(ぎん)祭・時代まつりとともに京都の3大祭のひとつとして今日でもにぎわっている。

あおいろしんこく 青色申告 事業を営んでいる個人または*法人で、*所得税や*法人税の納税に際して自主的に申告する制度。あらかじめ税務署長の承認を受け、一定の帳簿書類を備える必要がある。青色の用紙を用いて申告することからこの名称がある。正確な記入を条件として青色申告控除など、様々な特権が認められている。

あかしお 赤潮 動・植物性のプランクトンが異常に繁殖し、このため海水が赤や黄、かっ色に変色する現象。都市・工業排水により海が汚れ、*富栄養化するのが遠因といわれる。赤潮になると魚介類が死滅し、大きな被害を受ける。

あかじこうさい 赤字公債 →赤字国債

あかじこくさい 赤字国債 国が財政収入の不足を補うために発行する*国債。特例公債ともいう。わが国では財政法により原則として認められていないが、1965(昭和40)年の*不況に際して発行され、'75年以降は第1次石油ショック以降の長期不況による租税収入の不足を補うため、多額の赤字国債が発行されて、いわゆる国債の大量発行時代となった。→国債依存率、建設公債。

あかじざいせい 赤字財政 *歳出が*歳入を上回り、その差を*公債などで補わなければならないような財政状態をいう。

アカデメイア 紀元前387年ころに*プラトンがアテネの西郊アカデモスに創設した学園。学問研究・教育機関として、アカデメイア学派を形成し、529年東ローマ皇帝により閉鎖されるまで*ギリシア哲学の中心として永く継承された。「幾何学を知らざる者この

門より入るべからず」との格言が掲げられていたといわれる。academeia と綴り、academy の語源。

あがのがわゆうきすいぎんちゅうどく 阿賀野川有機水銀中毒 →水俣病

アガペー *キリスト教で説く神の愛のこと。*プラトンのイデア説に基づく*エロス(自己愛)に対することば。エロスが、自分に欠けているものを得ようとして、より完全なより価値あるものに向かう自己中心の愛であるのに対して、神の愛はすべての人に向けられる純粹で絶対的な愛である。イエスが十字架上で人間の罪を自ら負って死んだこと自体が神の愛の実現なのである。神のこの愛にこたえて、人間は神を信じ、神の心に従って神の愛を実践することが求められ、それは地上においてすべての人への*隣人愛を実践することによって果たされるとされる。→放蕩息子の帰郷、迷える羊、慈悲、仁

あかんたい 巫寒帯 = 冷帯

あきまつり 秋祭り 秋季に年穀の豊穰(とじ)への感謝を目的に、「*田の神」を山の方へ送る祭り。秋祭りは田仕事の終了する9、10月に多い。神々が出雲に集合し、不在となる神無月(かづ) (10月)も田の神の不在(送り)と関連する。

あく 悪 一般に人にとって有害で、好ましくないことを意味する。道徳的には、*ソクラテスは悪は無知に基づくものとし、*キリスト教においては*原罪の思想と結び付き、*仏教においては利欲や愚昧(ぐまい)に基づくものとされた。これらは悪を教育や修養によって克服すべきものとしているが、近世においては善悪を環境の産物として、相対的なものとみる考え方がうまれた。代表的なのは*唯物論で、悪の克服は個人的な教育や修養だけではなく、社会変革も必要であるとした。

アクィナス = トマス = アクィナス

あくしゅう 悪臭 →公害

アクセスけん ——権 *情報に接近(アクセス)する*権利。「私についての情報は私のもの」と主張するところから始まる。たとえば*アメリカ合衆国には「プライバシー法」があり、*政府が握る個人情報について本人の記録閲覧・訂正権を認めている。*マス・メディアが誤解を与えるおそれのある報道をした際に本人のいい分を無料で紹介すべきという反論権の主張もそのあらわれである。

あくにんしょうきせつ 悪人正機説

*浄土真宗の開祖*親鸞の中心思想。*煩惱(ぼんごう)に苦しむ人間、煩惱を離れることのできない人間、煩惱具足の悪人を救い、極楽浄土に往生させることが*阿弥陀仏の*本願であるとする説。『*歎異抄(たういしょう)』に「善人なをもて往生をとぐ、いはんや悪人をや(阿弥陀仏は悪人を救おうとされているのだから、善人でさえ往生できる以上、悪人はもっと救われ極楽往生できるのだ。)」とあることばがこの考え方をはっきりと示している。

あくほうもほう 悪法も法

悪法も*法であり国民は従わなければならないという意見。ギリシアの哲学者*ソクラテスが*衆愚政治の犠牲になって死刑を宣告されたとき、ソクラテスは弟子たちの脱走の勧めを断り毒杯を仰いで死を選んだ。しかし第二次世界大戦中のナチスによるユダヤ人絶滅政策など*国家による組織的な非人道的政策が出現したため、国民の*抵抗権が見直されつつある。

アグレマン 外交使節の任命に対し、相手国が与える承認のこと。

紛争を避けるため派遣国は任命前に相手国の意向を確かめるのが国際慣例となっており、相手国は外交使節の経歴・言動などから拒否できるし、また、承認(アグレマン)を与えることもできる。アグレマンを得たのち派遣国は外交使節を正式に任命する。

あごんきょう 阿含經

サンスクリット語、パーリ語のアーガマの音写。アーガマとは「来ること」の意味で、伝承のこと。*原始仏教の經典をいう。実際に*仏陀(ぶつ)が説いたと思われることばが多く含まれている。南方の伝では、長部・中部・相应部・増支部・小部の5部に分け、北方の伝では、長(ぢやう)阿含・中阿含・増一(ぢやういつ)阿含・雜(ざつ)阿含の四阿含(しあう)に分けている。簡潔ななかにも、人間の生き方を心あたたまる詩句や物語で教えている点に特色がある。

あさ 麻

日本で布として使われた麻は大麻(ぢやう)と苧麻(ぢやう)である。大麻は、繊維は強いが紡いだり染めたりするのが難しく、衣料としては苧麻が用いられた。*木綿が普及する江戸中期以前は、欠くことのできない衣料として、身分の上下を問わず広く用いられた。水や雪にさらして漂白した麻布は上布(じやうふ)といわれ、薩摩(さつま)上布・越後(ごう)上布などは現在でも優れた織物として愛好されている。

あさひそしょう 朝日訴訟

1957(昭和

32)年、長期療養者の朝日茂によっておこされた行政訴訟。国の実施する生活保護の実態は、あまりにも貧弱で、*日本国憲法の第25条の「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するという理念に反するとして、国を訴えた。*最高裁判所は'67年の判決のなかで生活保護基準は厚生大臣の裁量に含まれるとして合憲判決を下したが、裁判の途中で低い生活保護の実態が明らかにされ、この裁判が契機となって基準が大幅に引き上げられた。

アジア-アフリカいぎ 会議

1955年、インドネシアの首都バンドンでアジア・アフリカ29か国参加のもとに開催された会議。AA会議(Afro-Asian Conference)、バンドン会議ともいう。前年のコロombo会議の決議に基づいて、インドなど5か国が会議を招請。植民地主義反対、*民族自決主義の確認など、いわゆるバンドン精神に基づく*平和10原則を採択した。

アジア・アフリカしょこく 諸国

国連でひとつの潮流を形成しているアジア・アフリカの諸国。AAグループともいう。アジア・アラブグループを母体とし、新興国、独立国の増加に伴い、反植民地主義、民族自決主義を旗印に発言権を増した。政治的には様々な立場があるが、国連加盟国の過半数を超え、国連の新しい潮流を形成している。

アジア-アフリカのじだい 時代**アジアはいはつぎんこう 開発銀行**

アジア・太平洋地域の*発展途上国の開発のためにつくられた銀行。*エカフェが中心となって1960年に設立。'79年現在アジア諸国など43か国が加盟。日本がその中心になっている。

アジアじんしゅ 人種

北アジアから東アジア・東南アジアにかけて最も多く居住し、黄色人種、またはモンゴル人種ともいう。アジア人種は北方系と南方系とに分かれ、北方系は日本人・朝鮮人・モンゴル人など、南方系は中国人・インドシナ人などである。一部はヨーロッパにも居住している。→人種、ヨーロッパ人種、アメリカ人種、アフリカ人種

アジアじんのにほんじんかん 人の日本人観

1945(昭和20)年の日本敗戦以降、アジア諸国との国交は急速に回復されたが、植民地支配の経験を持つ年齢層のひととの反日感情は依然として根深い。しかし、新たな問題は'55年以降の日本の*高度成長に

よるアジアへの強引な経済進出、および軍事大国化が、いわゆる戦無派層に新たな警戒的感情を生じさせている点にある。また、日本は欧米諸国にのみ顔を向け、アジアの一員としての自覚と貢献度が足りない指摘されている。

アジアてきせいさんようしき ——的生産様式 古代のアジアで共通に見られる農業のあり方をいう。*原始共産制においての生産方法は自然条件によって、様々な形態があった。アジアでは農業を行うのに、大規模な治水灌漑(給)事業が必要であり、その管理も家族や村落などの*労働力だけでは間に合わず、それらの上に君臨し命令を出す人が必要であった。このような人が所有者となり、労働力を奴隷として使うような生産様式が行われた。

アジアてきせんせいしゅぎ ——的専制主義 アジアに典型的にあらわれた専制的支配のこと。個々の*共同体の最高の所有者である君主が権力を集中し支配する体制のことで、*奴隷制の端緒の形態といえる。

アジア-ハイウェイけいかく ——計画 アジア西端のトルコから東端のベトナム・インドネシアにいたる総延長6万4千kmの自動車道路網を整備する計画。1955年の*エカフェの総会で決定した。通過国は13か国。日本など15か国が協力しており、'72年に主要幹線の90%が開通。

あしおこうどくじけん 足尾鉾毒事件 栃木県渡良瀬(給)川上流の足尾銅山から流出した銅・亜鉛などの鉾毒により、沿岸の農作物や漁獲に損害が生じ、農民の健康をもそこねるにいたった事件。わが国最初の公害事件で被害者や農民などが抗議行動をおこし、*田中正造はこの問題を議会で訴えた。政府は治水に名を借りて被害を隠そうとして、下流の谷中村を廃村にし遊水池をつくった。鉾毒対策はいまだに不十分である。

あしたにみちをきかば、ゆうべにしずともかなり 朝聞道、夕死可矣 もしも、朝に人がふみ行すべき道理を知り得たならば、夕に死んだとしても悔いはないという意味。*道を知ることの重大さをのべた『*論語』里仁編にある*孔子のことば。

アジテーション 人を煽動(給)すること。大衆が政治的・経済的・社会的不満あるいは不安な状態にあるとき、大衆の情緒に訴え、意図する方向に大衆を誘導すること。主義・主張など理性に訴える宣伝にくらべ、大

衆の情緒的・心理的側面を重視するが、両者の区別が明確にあるのではない。

あしゅら 阿修羅 サンスクリット語のアスラ。元来はインドの古い神で善神であったが、次第に悪神とされ、*帝釈(給)天と争う悪魔(給)となる。非天と漢訳される。仏教では*六道のひとつで、高慢で疑い深い者が落ちる苦しみの世界を指す。しかし、一方では、仏法を護持する八部衆のひとつとして彫像にもなっている。鬼神の一種とみられている。

アショークおう ——王 阿育王と書く。マウリア王朝第3代の王。在位紀元前268～紀元前232年。東南インドのカリंगाを征服して全土を統一。*仏教に帰依し、仏教による国家統治を進めるため、各地に仏法を説いた石柱をたて磨崖文(給)を刻ませた。また仏教普及のためセイロン島に使節を送るなどして南伝仏教の基礎を築いた。

アステカぶんか ——文化 =アステック文化

アステックぶんか ——文化 メキシコ高原で、トウモロコシ栽培を基盤として発達した*農耕民族の*文化。アステカ文化とも呼ばれる。14世紀中期にテノチテラン(今のメキシコ市)を建設し、軍事・政治組織の整備された強大な国家をつくりあげた。社会組織は、王・貴族・平民・奴隷の諸階級があり、職業の分化もみられた。守護神は軍神ウィツィロポチトリ。人間の犠牲を神にささげる宗教や絵画・彫刻を特徴とする文化であった。16世紀にスペイン人コルテスの征服により滅びた。

アセアン ASEAN Association of South East Asia Nations (東南アジア諸国連合)の略称。東南アジア5か国(タイ・マレーシア・シンガポール・インドネシア・フィリピン)の経済・科学技術・文化を発展させるための協力機構。1967年結成。経済面では食糧・資源や工業生産での協力、*特惠関税による貿易の拡大などを進めている。政治的には親米的で、*ベトナム戦争から以後は軍事的協力の性格も強めてきている。

あぜくろづくり 校倉造 断面が三角形の木材(校木)を組み合わせて壁とし、その上に屋根のをせた建築法。日本では古代の役所・寺院などの倉がこの様式によっている。東大寺の正倉院はその代表的なもの。この建築法は材料として木材を大量に必要とするため中世以後はあまり用いられなくなった。な

お、木材の膨張・収縮によって内部の湿度が調整されるといわれているが確かではない。

アセスメント = 環境アセスメント

アソシエーション 企業・政党・学校・クラブなどのように共通の関心や目的を持つ人びとが、それらを達成するために意図的に形成した*社会集団。アメリカの社会学者マッキーバーが唱えた社会集団の類型のひとつ。結社体と訳される。集団の目的や機能が明確で、加入や脱退は自由意志によって決定される。アソシエーションの多元化や巨大化が進み、*多国籍企業のような国際的規模のものが発達する。

あそび 遊び 遊戯、仕事のないことなどを指すが、芸術上では、人生から遊離した美の世界を追求することをいう。遊びは、一般に価値の低いこととして軽視されるが、子供は遊びを通して社会的自覚を高め、また遊び(余暇)によって労働の意欲を回復させるなど、その意義や役割が再認識されつつある。オランダの文化史家*ホイジンガは、「人間は遊ぶ動物である」(*ホモ・ルーデンス)といった。

あそびなま 遊び仲間 遊びを通じてできる仲間。*児童期から成人に至るまでのすべての年齢期において、近接年齢の仲間によって構成されるような*第1次集団のこと。分け隔てなく交際し、伸び伸びとした人間関係ができるが、困難な状況に遭遇したときの助けとはなりにくい。

あそびぶんか 遊び文化 日常の労働や、生活慣行から離れて、持っている時間のすべてを遊びに振り向けようとするところから生まれる、様々な手段や行動の総称。やくざのことを「遊び人」ともいう。通常の労働に従事せず、一般の掟(きまり)とは別の世界に住む人間だからである。目的や手段のある日常の労働とは異なり、遊びはそれ自体が目的であり、本質的には非合理で自由な行動であって、そこでは日常の実利的なルールは効力を持たない。宗教・芸術・スポーツはそのような世界から生まれてきたものである。遊びは人間の主体的な行動であるといえる。

アダム＝スミス = スミス

アタラクシア 動揺しない心、心の平穏さという意味のことば。*エピクロス学派によってとくに重んじられた。政治のわずらわしから離れ、運・不運や成功・失敗などに惑わされず、おのれのなすべきことによって心の平穏を保つことが最善の快楽であり幸

福であるとされた。

あたらしいじんけん 新しい人権 *日本国憲法に規定のない新しい人権。*基本的人権は学者が頭のなかで考え出したのではなく、悪政や*社会のゆがみに対し「これだけはやめてほしい」という*抗議的性格を持つ。したがって社会の変化に伴い人間らしい生活を営むうえでの新しい障害がうまれると、*国民は新しい人権を要求するようになる。その際*個人の尊重、思想・良心の自由、*表現の自由、*生存権などを述べた今までの憲法の規定を手がかりとして、それを発展させて主張されることが多い。*知る権利・*アクセス権・*プライバシーの権利・*環境権・*日照権・*眺望権・*平和的生存権などが含まれる。*憲法の空洞化が社会変化を理由として憲法をマイナス方向に弱めようとするのに対し、新しい人権は社会変化を理由として憲法をプラス方向に強めようとはかるものであり、*人権意識の高まりによってうみ出される。

あたらしいひんこん 新しい貧困 生活環境の悪化を示すことば。所得そのものの低さを示す旧来の貧困に対していわれる。*経済成長によって*国民所得の水準は高まったのに、生活面での*社会資本(住宅、上下水道、交通、文化や福祉のための施設など)が立ちおくれ、また、*公害や*環境破壊が深刻になっている状態をいう。

あっせん 斡旋 *労働委員会が行う*労働争議の調整方法のひとつで、労働争議が発生したとき、労働委員会の会長が指名する斡旋員が、労使の間に立って双方の主張の要点を確かめ、争議が解決されるよう努力することを含む。労使双方またはいずれか一方の申請に基づく任意斡旋と、職権に基づく職権斡旋とがあり、争議解決のきっかけとなることが多い。

あつりょくだんたい 圧力団体 特定の利益を擁護・拡大するために議会や政府にはたらきかける団体。*政党とは異なり政権獲得を目的としない。日本には、日経連・総評・農協・日本医師会・*主婦連などがある。現代では、政治的決定に圧力団体は大きな影響力を及ぼしている。このような状況は、地域代表によっては職業上の利益を確保できないこと、あるいは、*福祉国家にみられるように政府の活動が拡大したため、直接はたらきかけない国や*行政の目配りが届かないことに原因がある。

アトム 原子。分割することのできない粒子のことで、物質を構成する最小単位。
*デモクリトスはこれを万物の*アルケーとしたが、17世紀に新しく発見されて近代原子論が確立された。現代物理学はさらに微小の世界に分け入っている。

アナーキズム 自由な個人の連帯を重視し、あらゆる権威や統制に反対して無政府を理想とする思想。無政府主義ともいう。近代では、社会主義運動の一部にあらわれたシュティルナー・バクーニン・クロポトキンなどに代表され、民衆の自発的蜂起(蜂起)による革命を唱えた。今日の*管理社会への反発から無政府的言動が広まる気配がある。

あなたのてきをあいせ あなたの敵を愛せ
= 汝の敵を愛せ

アニミズム ラテン語で*靈魂を意味するアニマに由来する言葉で、自然界の万物に靈魂の存在を認める信仰のことをいう。自然法則を知らない古代、未開人にとって、人生の諸現象は彼らのはかり得ない力で支配されているものであると同様に、自分たちを包んで活動しているあらゆる自然物や自然現象にも、神秘的な靈魂の作用があると考えたのであった。

アネクメーネ 地球上において、人類が居住していない地域。
*エクメーネに対する語。
*文明の発展と人口の増大によって次第に減少し、現在は気候の極端に厳しい地域に限られる。

あねったい 亜熱帯 緯度15〜30度の中緯度高圧帯の影響を受けるところ。
*ユーラシア大陸の東側、北インド、中国の華中・華南や沖縄などでは季節風の影響を受け雨が多いが北アフリカなどは乾燥(乾)する。気温が熱帯と温帯の中間にあり、ドイツの気候学者ケッペンは4〜11か月の月平均気温が20℃以上の地帯としている。

アノミー 社会的規準や価値観の喪失によって生じる精神的な不安の状態。「無法律状態」を意味するギリシア語に由来するが、フランスの社会学者デュルケムによって社会学的概念として定式化された。

アパティア パトス(感情)から離れていることという意味。
*ストア学派では、人間は自らのうちに備わっている*ロゴス(理性)に従って主体的に生きるべきであるとして、外部からの刺激に影響されて感情を乱されることがない状態を理想とした。

アバルトヘイト *人種差別に基づく隔

離政策。隔離を意味するアフリカーンス語で、とくに南アフリカ共和国の極端な人種差別政策と制度を指す。南アフリカ共和国では420万の白人が1800万のアフリカ人、230万の混血、70万のアジア人を政治的・経済的・社会的に差別している。たびたび*国際連合から非難を受けており、国内でも有色人種の闘争は強まりつつある。

アフガンしんこう ————**侵攻** 1979年、突如ソ連がアフガニスタンに軍事介入し、アミン政権を崩壊させた事件。アフガニスタンは78年以来、親ソ的な社会主義国であったが、イスラム保守勢力の反乱に有効な処置をとれず、しかもソ連の介入を拒否した。しかしソ連の介入が行われ、ソ連の意向にそうカルマル新政権が発足したが、その後も反政府ゲリラ活動はつづいている。

ア・プリオリ より先なるものから、の意で「先天的」と訳される。
*カントにおいて直観形式(時間と空間)と悟性形式(カテゴリー)とは、論理的に、経験に先立って理性に備わっているもので、多様な感覚的素材に統一を与え、経験を成り立たせる先天的(純粹)形式である。

アフリカじんしゅ ————**人種** サハラ砂漠より南のアフリカに最も多く居住する*人種で、黒色人種ともいう。インド南部やオセアニアにも居住し、また、かつて奴隷として強制的に移住させられた結果、アメリカ大陸にも多く居住している。一般に、ギニア湾沿岸のスーダンニグロ、コンゴ川流域、東アフリカから南アフリカにかけての*パンツニグロ、カラハリ地方の小ニグロに大別される。→ヨーロッパ人種、アジア人種、アメリカ人種

アフリカとういつきこう ————**統一機構** OAU (Organization of African Unity) と略称。南ア共和国を除くアフリカの全独立国から構成される地域機構。植民地主義の根絶、領土保全、開発の促進、紛争の解決、未独立地域の解放を掲げて1963年に創設された。加盟国数約50。

アフリカのつ ————**の角** エチオピアとソマリアのあるソマリ半島のこと。この地区はインド洋から紅海に通じるオイルルートとして戦略上重視される。1977〜78年にかけてのエチオピア領北東部のオガデン地区の領有をめぐるエチオピア・ソマリア間の紛争により、「アフリカの角紛争」として知られる。紛争はソマリアの敗北で終結した

が、その結果エチオピアがソ連に、またソマリアが中国に接近し、新たな緊張を呼びおこしている。

アフリカのとし ———の年 ヨーロッパ諸国の支配下にあったアフリカ17地域が相次いで独立した1960年のこと。第二次世界大戦終結に伴い、黒人の自主的な解放運動が始まり、'55年のバンドン会議以後、独立運動が高揚。'57年のガーナ独立を先頭に多くの国が政治的独立を達成した。東西陣営のはざまにおかれ、経済的自立を模索しながらも、国連でひとつの政治的潮流を形成している。

アブレーゲール 本来は第一次世界大戦後のヨーロッパでおこった新しい文化運動のことを指すが、日本では第二次世界大戦後の新しい文学活動やそれを担った若い文学者のことで、戦後派ともいう。思想的には、既成の*価値観を否定して、無軌道、不道徳などといわれる考え方や行動をとった。

アフロディテ Aphrodite *ギリシア神話における愛と美、豊穡(ほうじく)の女神。もとは地母神で万物生成の原動力。女性としての美と魅力の完全像として表現され、ローマ神界のウェヌス(ビーナス)に同じ。

あべいそお 安部磯雄 1865〜1949(元治2〜昭和24)社会運動家・政治家。1901(明治34)年、社会民主党の結成に参加した。キリスト教社会主義を宣伝し、'32(昭和7)年、社会大衆党委員長となった。

あべじろう 阿部次郎 1883〜1959(明治16〜昭和34)明治〜昭和期の哲学者。*夏目漱石に師事。人格主義・*教養主義を唱えた。主著『三太郎の日記』は青年の必読書とされた。

アヘンせんそう ———戦争 イギリスと清国(今の中国)との間でおこった戦争。1840〜'42年。イギリスのアヘン輸出を清国がきびしく取り締まったのに抗議してイギリスが開戦、ホンコンを手にいれて欧米諸国による中国侵略のきっかけとなった。

アポロン Apollon *ギリシア神話で知性と文化を代表する神。たて琴・弓・月桂樹を伴った美青年として表現され、ときに太陽と同一視される。予言の神でもある。

あまえのこうぞう 甘えの構造 →甘え理論

あまえりろん 甘え理論 「甘え」の概念から日本人の精神構造や日本の社会構造を解明しようとする理論。土居健郎の『甘えの構造』によると、わが国の社会は「甘えの社

会」で、それは個々の人間関係から国家・宗教などにも浸透しているという。その原型は母子関係における乳児の「甘え」の心理にあるとされる。

あまくだり 天下り *公務員がその地位を利用して転職すること。わが国では*政府の*企業に対する発言権が強く、*地方公共団体も*財政に関して中央依存が強い。そこで*国家公務員の幹部が退職後、その仕事と関連する*大企業、公社・公団、地方公共団体の最高級の地位につき、*行政の公正を乱すことが少なくない。*人事院規則で天下りに対して制限を設けているが、効果は不十分である。

あまごい 雨乞い 降雨祈願の祭り。早魃(さか)のときには、宮中でも民間でも行われた。*氏神や霊場にお籠(こ)りしたり、雨乞い踊りを踊ったり、水の聖地からもらい水をしたり、川や池の水をかきまわして水の神を怒らせたり、山頂で火をたいたりなど、地方によってその方法は様々である。

あまてらすおおみかみ 天照大神 日の*神。オオヒルメムチともいう。*日本神話においては、天上世界である高天原(たかみか)の最高神であり、皇室の祖先神でもある。現在*伊勢神宮に祭られている。

あみだきょう 阿弥陀経 極楽浄土の様子をえがき、*念仏をすれば浄土に往生できると説く。浄土三部経のひとつ。サンスクリット本では、『極楽莊嚴(ごくらくじょうおん)』と名付ける大乘経』という経題。402年ころ、*鳩摩羅什(くもらし)によって漢訳された。

あみだぶつ 阿弥陀仏 サンスクリット語アミターバの音訳で、無量寿・無量光と漢訳される。西方にあるという極楽浄土をおさめる仏。*衆生(しゆじやう)を救うことを本願とする仏で、この仏を念じ、その名を唱えるだけで浄土に往生することができるとされる。*浄土宗や*浄土真宗の本尊。→浄土信仰

アムネスティ 囚人の人権擁護を目的とする国際民間団体。アムネスティとは*恩赦とか*特赦という意味。*国際連合の第3回総会で成立した、人権尊重に関する*世界人権宣言の趣旨に基づき、1961年に結成された。おもな活動は(1)「*良心の囚人」の釈放、(2)政治犯の公正で迅速な裁判、(3)死刑や拷問の廃止を国際世論に訴え実現することにある。

アメリカがっしゅうこく ———合衆国 *先進資本主義国のなかで指導的な地位にある大国。*プレーリーの農牧業や北東部の

鉦・工業を中心に「豊かな社会」を築いた。1960年代に入って外国資源への依存が高まり、軍事支出や世界有数の大企業の海外投資で*ドル危機がおこった。国内では人種問題をかかえている。面積936万平方キロ、人口2.2億人(1979年)、首都ワシントン。→アングロ・アメリカ

アメリカじんしゅ ——人種 アメリカインディアンの中で、赤色人種・銅色人種ともいう。かつて氷河期の末期に、陸化していたベーリング海峡を渡って、アジアからアメリカ大陸に移り住んだもの。白人の移住以来、人口の減少が著しい。→人種、ヨーロッパ人種、アフリカ人種、アジア人種

アメリカどくりつせんげん ——独立宣言 1776年、*アメリカ合衆国の独立を宣言した文書。*アメリカ独立戦争の際*ジェファソンにより起草され、各州代表の集まった大陸会議において採択された。*ロックの唱えた*抵抗権の思想を取り入れ独立の正当性を主張し、*国家の目的を生命・自由・幸福追求という*自然権の保障にあると確認している。

アメリカどくりつせんそう ——独立戦争 1775〜'83年に行われた*アメリカ合衆国が*イギリスから独立した戦争。同時にアメリカ内部での社会変革を伴ったので*市民革命の性格も有する。

アメリカのせんきょとせいとう ——の選挙と政党 18歳以上の米国民が*選挙権を持ち、大統領選挙は4年ごとに行われる。*被選挙権は米国民として生まれ、*選挙に先だって14年以上米国に居住した満35歳以上の男女が有する。選出方法は、各州に割り当てられた大統領選挙人を一般有権者が選出し、選挙人が各大統領候補に投票する*間接選挙制である。アメリカの議会は上下両院からなる*二院制で、上院議員の被選挙権は9年間以上米国民権を持つ30歳以上の男女。各州の定員は2人、任期は6年で、2年ごとに3分の1が改選される。下院議員の被選挙権は7年間以上米国民権を持つ25歳以上の男女で、1選挙区1人の*小選挙区制である。投票日は大統領・上下両院議員選挙とも11月の第1月曜日の翌日の火曜日と定められており、各州知事・州議会議員選挙もこれに合わせることが多い。政党制は*民主党と*共和党以外はほとんど振るわず典型的な*2大政党制である。

アラー Allah *イスラム教における

神の名。唯一絶対で全智全能の神。正義・仁愛・寛容の特性を持つ。イスラム教の聖典『*コーラン』では、「すべてをみるもの」「すべてを聴くもの」などの表現であらわされている。イスラム信徒は毎日「アラーのほかには神はなし」と唱え、礼拝を欠かさない。→マホメット

あらいはくせき 新井白石 1657〜1725(明暦3〜享保10)江戸時代中期の儒者・政治家。木下順庵に*朱子学を学び、將軍徳川家宣に仕えて幕政を補佐した。幕府制度の改革や財政の改革をはかる一方、多数の著作をし、幕藩体制下での屈指の学者とされている。著書は『読史余論』『折たく柴の記』『西洋紀聞』など。

あらかん 阿羅漢 サンスクリット語アルハンの音写。応供(？)の漢訳語。供養を受けるにふさわしい人の意味。世の人の尊敬を受けるに値する人のことで、修行を完成した人。インドの諸宗教を通じて用いられた呼び方で、仏教もこの呼称を取り入れ、仏と同じ意味で使われることもあったが、*小乗仏教では、後に仏と阿羅漢は区別され、仏弟子が修行によって至る最高の位とされた。

あらひとがみ 現人神 人の姿をとった神。明治政府は統一国家の形成のため*天皇を現人神として神格化する一方、天皇の名で*政治を行った。1946(昭和21)年1月1日、天皇は神格を否定し人間宣言を行った。

アラブせきゆゆしゅつこくきこう ——石油輸出機構 =O A P E C(オアベック)

アラブぞく ——族 アラビア半島から北アフリカにかけて居住し、アラビア語を使用する民族。大部分が*イスラム教を信仰しているため、アラブ族とイスラム教は密接な関係にある。アラブ族にはアラビア半島を原住地とする純粋なアラブ族と、7世紀以降北アフリカなどでアラブ族の進出によりアラブ化されたものがある。

アラブレんめい ——連盟 アラブ諸国の独立と主権を守り、中東の平和と安全をはかるための協力機構。1945年設立。加盟国は現在(1982年)、*P L O(パレスチナ解放機構)を含む22か国。政治・経済・軍事・社会各面での協力をはかっている。第4次中東戦争でエジプトが単独で*イスラエルと平和条約を結んでしまった(1979年)ことから、エジプトは資格を停止されている。

アリウス Arius (250ころ〜336) リビア生まれの神学者。イエスは神によってつ

くられたもの（人間）であって、神と同一なものではないと唱えた。*三位一体説を主張したアタナシウス派と論争したが、ニカイアの宗教会議で*異端として追放された。

ありしまたけお 有島武郎 1878～1923（明治11～大正12）*白樺派の文学者。*キリスト教に入信したがのち*社会主義に関心をもち、自己の農場を小作農に解放した。代表作に『或る女』『カインの末裔（孫）』などがある。

アリストIPPUS Aristippos （紀元前435ころ～紀元前350ころ）*ソクラテスの弟子でキュレネ学派の祖。快楽こそが善であるとしたが、快・不快を区別するためには識見が必要であり、賢者は快楽におぼれてはならないとした。

アリストテレス Aristoteles （紀元前384～紀元前322）ギリシアの哲学者。マケドニアのスタゲイラの人。*アカデメイアで*プラトンに師事したのちに、招かれて王子*アレクサンドロス（のちの大王）の師を務めた。マケドニアによるギリシア征圧後再びアテネに赴き*リュケイオンを創設したが、大王の死を契機として高揚した反マケドニア気運のなかで、身の危険を避けてそこを去り、翌年病没した。冷静な科学者の目で事物を観察し、*自然哲学に始まる自然研究を集成するとともに、*ソクラテス・*プラトンの思想を継承して*ギリシア哲学を大成した。*万学の父ともいわれる。「私は師を愛する。しかし師にもまして真理を愛する」というように、その学風は師プラトンのイデア論に対して批判的で、個物重視の現実主義的傾向が強い。主著は『形而上学（ミタフィジクス）』『*ニコマコス倫理学』『*オルガノン』。→最高善、形相、中庸

アリストファネス Aristophanes （紀元前450ころ～紀元前385ころ）アテネなどで活躍した喜劇詩人。代表作には*ソクラテスを自然哲学者とした『雲』や、戦争反対の『女の平和』『蜂』がある。喜劇によって政治・社会を批判し、平和を主張した。

アルケー 根源・始源・もとのもの（元素）の意。王や最高神の支配権・命令権を意味したが、*自然哲学においていっさい万物を支配する根本原理の意に用いられた。千変万化する事物が、それによって生まれ、再びそれへと戻っていく不変の根源のことでイオニア学派はそれを質料的なものに求めて唯物論的である。

アルバイト 本来はドイツ語で「労働」のことであるが、今日わが国ではおもに本職以外にするかせぎ仕事や学生の内職などのことを指し、バイトともいう。高校生の場合、労働の意義を体験できる機会と考えることもできるが、実際には汗を流す仕事を敬遠して格好よくかせぎ、多いに遊ぶといった傾向もあり、禁止している学校も多く、親の考えも様々である。

アルプスさんみゃく ———山脈

*新期造山帯に属するヨーロッパを代表する山脈。フランス南東部からオーストリアにかけてモンブラン（4,807 m）をはじめ、4,000 m級の山が連なっている。

アルプスーヒマラヤぞうざんたい ———

造山帯 ユーラシア大陸の南縁を東西に連なる*新期造山帯に属する造山帯。西はアフリカ北西端のアトラス山脈からはじまり、ピレネー、アルプスから中央アジアを通して、ヒンズークシ、*ヒマラヤ山脈を経て、大スンダ列島に至る。世界で最も大規模な山脈群となっている。

あれかこれか *キルケゴールの著書（1843年）。人生の享楽をあれもこれも求める*審美的実存を捨てて、あれかこれかの選択を問う*倫理的実存への飛躍が語られる。ヘーゲル批判のことばでもある。→実存弁証法

アレクサンドロス Alexandros

（紀元前356～紀元前323）アレキサンダー大王ともいう。マケドニアの王で、東方遠征により、ペルシア帝国を滅ぼしてインドにまで及ぶ大帝國を築いた。ギリシア文化を東方に広めオリエンタ文明との融合に努めて、*ヘレニズム文化をうみ出すものとなった。

アレテー よさ、徳と訳す。事物がその固有の目的を実現できる優秀性。たとえばナイフのアレテーはよく切れること。*ソフィストは人間のアレテーを雄弁とし*ソクラテスは魂の善い状態とした。中国古代の儒家は*道を行って身に得た仁義礼知などを総称して徳といった。→四元徳

アンガージュマン

*サルトルの用語。自己拘束・社会参加の意。人間は状況内存在であり、自由は状況を離れてはありえないが、自己に有意義な状況をつくり出すのはまた*実存の自由な行為にほかならない。したがって自由とは決断によって自己を状況から解放し、自己の未来を選びとって新たな状況へと自己を拘束する自由であり、自己を選ぶことを通して人類の未来に自己を参加させる

こと、自己と社会に対してあえて進んで責任を引き受けることにほかならない。

あなかなせいふ 安価な政府 = 小さな政府

あんきょはいすい 暗渠排水 湿地を改良するために、地下に水路をつくって、水をよくすること。

アングタッド UNCTAD = 国連貿易開発会議

アングラ underground (アンダーグラウンド) を略した和製英語で、地下、公(場)でないことを意味する。はじめは商業主義に反抗して新しい試みを行う芸術活動を、アングラ映画、アングラ演劇、アングラ劇場などと称していたが、後には非合法的に潜行して行う政治活動や政治的情報などを指すものとして、広い範囲で使用されるようになった。

アングロ-アメリカ アメリカ大陸のうちアングロサクソン(*イギリス)系移民の*植民地が独立した*アメリカ合衆国・カナダ・グリーンランドをいう。英語を主要言語とし、強い自治意識のもとに18～19世紀に独立し、経済的にも高度の発展をとげている。ただし、カナダではフランス系移民の力も強く、また合衆国ではニグロ系市民の政治的成長が著しく、それぞれ政治課題を持っている。*ラテン-アメリカに対応する。

アンザス ANZUS オーストラリア(A)・ニュージーランド(NZ)・アメリカ(US)の3国が結んだ太平洋安全保障条約機構の略称。1951年成立。加盟国中の一国が攻撃されたとき、ほかの国は共同行動をとることを約束。*日米安全保障条約・米比相互防衛条約などとともに、*アメリカ合衆国の太平洋地域における集団安全保障体制の重要な一環となっている。

アンシャン-レージュム *フランス革命前の旧制度のこと。*絶対主義の下で*貴族や僧侶が特権を持ち、*市民には政治的・経済的自由が与えられることなく、農民は重税に苦しんでいた。

あんぜんほしょう 安全保障 国際平和と国家の防衛を保障すること。第一次世界大戦前には一国の軍事力の増強もしくは他国との同盟によって安全を保障してきたが、第二次世界大戦後は一定の地域内の諸国が相互に共同して安全を保障する地域的集団安全保障体制をとる例が多くなった。西側では*北大西洋条約機構(NATO)、東側では*ワルシ

ヤワ条約機構がある。

あんぜんほしょうりじかい 安全保障理事会 国際平和と安全の維持を主任務とし、国際紛争の平和的解決ならびに平和に対する破壊行為の防止および抑圧にあたる*国際連合の主要機関。*常任理事国5か国と*非常任理事国10か国とからなる。総会に従属する機関ではなく、必要があれば、経済的ならびに軍事的制裁を発動決定する権限を持つが、常任理事国には*拒否権が認められている。

アンチテーゼ 定立されたある*命題に対して、それと矛盾対立する反対命題のこと。定立は反定立をうみ、両者の矛盾は*止揚されて高次元の定立へと移行すると考えるのが弁証法論理である。

あんちゅうは・あんごは 安中派・安後派 1960(昭和35)年の*日米安全保障条約の改訂をめぐる論議や反対運動の後で、学生の間で流行したことば。安中派は、安保闘争の時代に大学生であった人びと、安後派は、安保闘争後に入学した人びとを指す。概して安中派は*全学連の運動を評価し支持するが、安後派は全学連の活動に傍観的である。

あんていきょうこう 安定恐慌 *インフレーションを収めようとして*通貨や*金融が引き締められることによっておこる*恐慌。通貨の減少によって物が売れなくなり、*企業の*倒産や失業者の発生が大規模におこる。第一次世界大戦後のドイツや、わが国の第二次世界大戦後の*ドッジ-ラインの実施によっておきた恐慌が代表的な例である。

あんていせいちょう 安定成長 = 低成長
あんていりくち 安定陸地 地球上で最も古い陸地の部分で、大陸規模の広大な平原となっている。安定陸塊・古大陸塊ともいう。先カンブリア紀に、すでに造山運動はおさまり、浸食が進んで平原状になった。その後、地殻はきわめて安定し、造陸運動を受け、現在は高原状になっているところが多い。→火山活動や地震はまったくおこらない。→新期造山帯、古期造山帯、地殻運動

アンデスキょうどうしじょう —— 共同市場 ACMと略称する。南米のコロンビア・エクアドル・ペルー・ボリビア・チリの5か国が1969年につくった*地域的経済統合。*ラテン-アメリカ統合連合に対抗して、関税同盟の結成と工業化の推進をはかっている。

アンデスさんみゃく —— 山脈 南アメリカ大陸の西縁を南北に細長く連なる世

界でも最も大きな山脈のひとつ。*環太平洋造山帯に属し、6,000mを越える高い山なみを形成している。

アンデスしょこく —— 諸国 南米の*アンデス山脈に接する国々。インディオなど住民は高地に居住し、古くは*インカ文化をうんだ。農業人口が多いが土地は少数の地主に集中し農民は貧しい。また銅・スズなどの鉱産物が多いが外資に支配されている。コロンビア（面積113.9万平方㎞、人口2,636万人、首都ボゴタ）、エクアドル（面積28.4万平方㎞、人口815万人、首都キト）、ペルー（面積128.5万平方㎞、人口1,729万人、首都リマ）、ボリビア（面積109.9万平方㎞、人口542万人、首都ラパス）、ベネズエラ（面積91.2万平方㎞、人口1,352万人、首都カラカス）は経済協力のため*アンデス共同市場を結成。

あんどしょうえき 安藤昌益 1703～'62（元禄16～宝暦12）江戸時代中期の思想家・医者。秋田で生まれ八戸（※）で医者を開業しながら学問文筆に活動した。支配者のない、すべてが農耕に従事する平等な自然世を理想社会とし、*孔子や*孟子のような聖人の学説も階級支配の合理化にすぎないと批判し、封建的身分秩序を否定した。著書に『自然真営道』など。

アンネのにつき —— の日記 アンネ＝フランクの書いた日記。アンネはドイツ生まれのユダヤ人少女。第二次世界大戦中、ナチスの追及をされ、オランダの隠れ家に隠れていたが発見され、強制収容所で死んだ。日記には、*ユダヤ人絶滅政策の下におびえる人びとの人間関係と、*思春期にある少女の心理の動きが生生きと描かれている。

あんらくし 安楽死 ひん死の状態にある患者の苦痛を取り除くため死期を早める処置。たとえ善意から出た処置であっても、殺人罪にならないかが問題となる。死期が切迫し、苦痛はげしいとき、患者の同意によりこれを是認しようという見解もあるが、反対論もある。

い

イーイーシー EEC European Economic Community（ヨーロッパ経済共同体）の略称。ヨーロッパ共同市場ともいう。1958

年に西欧6か国（フランス・西ドイツ・イタリア・ベルギー・オランダ・ルクセンブルク）によってつくられた*地域的経済統合。(1)外には共通関税をかけて輸入を抑え、内部では*関税をなくして自由貿易を行う、(2)内部での資本や労働の移動を自由にする、(3)共同の投資銀行や開発基金の設立、などによって経済の発展をはかった。'67年*E Cに統合された。

いいんかいせい 委員会制 議会の審議を委員会中心に行う制度。イギリスの本会議中心の議会制に対し*アメリカ合衆国で発達した。わが国もこれを採用し、*常任委員会と*特別委員会で審議を行った後、本会議で議決する。議員が専門知識を持ち法律案について慎重審議することができる反面、*圧力団体などとの結び付きをうみやすい。

イエス＝キリスト Jesus Christ（紀元前4～紀元後30ころ）*キリスト教の始祖。パレスチナ生まれで、父は大工のヨセフ、母はマリア。ガリラヤのナザレで育ち、成長してからバプテスマの*ヨハネの洗礼を受け、荒野で40日間の断食を行った後、*メシアとしての自覚を得て、神の国の*福音と悔い改めを呼び掛け、また病人をいやすなどの奇跡を行ったとされる。イエスは、当時の*ユダヤ教が*律法を重視するあまり、形式主義に陥っていることを批判して、大切なのは律法を形式的に守ることではなくて、その内面化であるとし、神の愛（*アガペー）を信じて、人びとの間で愛の実践をせよと説き、神の前には人はみな平等であるとして富や権力のむなしさを教えた。このため、ユダヤ教の律法学者から迫害され、「ユダヤ王と称してローマに反乱を企てた」という理由で十字架にかけられた。なお、キリストとはギリシア語で救世主という意味であり、ヘブライ語のメシア（香油を注がれた者の意味）の訳語である。

イエズスがい —— 会 1524年、スペインのイグナチウス＝ロヨラによって創設されたカトリックの修道会派。ジェスイット教団ともいう。カルビン主義に反対して人間の自由意志を強調し厳格な規律に従った宣教活動に従事した。その活動は反宗教改革と呼ばれ、全世界に及び、1549年には*ザビエルが日本に初めて*キリスト教を伝えた。

いえて 家出 家族生活に耐えかねて、突然家を出ていくこと。家族関係の不和、学業や事業の失敗などその原因は多様で、犯